



# 六中だより



令和7年度第8号  
(令和7年12月24日発行)  
文京区立第六中学校  
校長 田中 繁広

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

六中ホームページ  
QRコード



## 子どもを包む「空気」のつくり手 ~校長より~

昨年度の学校だより12月号では、かつて読んだ1冊の本について述べていたので、もう1冊、今年の年末清掃の中で見つけた本をご紹介します。教員になりたての頃に、先輩から勧められた「空気の教育」という本についてです。



その中で作者の作家・英文学者である外山滋比古さんは、「人は理屈や言葉だけで育つのではなく、周囲に満ちている“空気”によって育てられる」と述べています。大人が何を語るか以上に、どのような姿で日々を生きているか、どんな雰囲気の中に子どもを置いているかが、子どもの成長に深く関わるという指摘です。私は学校で、この言葉の重みを日々実感しています。生徒たちは、教師の一言一句だけでなく、教室に流れる緊張感や安心感、挑戦を後押しする雰囲気、失敗を受け止める空気を敏感に感じ取っています。「間違えても大丈夫」「やってみよう」という空気がある教室では、生徒は自然と前を向くことができます。逆に、正解だけを求める空気が支配すれば、挑戦はしぼみ、思考は止まってしまいます。

これは学校だけの話ではありません。家庭や地域社会もまた、子どもたちを包む大切な「空気」をつくっています。忙しい日々の中で交わされる大人同士の言葉遣い、子どもの話を聞くときのまなざし、地域でのあいさつや何気ない声かけ――そうした一つ一つが、子どもたちに「自分は大切にされている」「この社会の一員なのだ」という感覚を静かに伝えています。

外山さんはまた、「教育は、教えようとして教えられるものよりも、知らず知らずのうちに身につけていくものの方がはるかに多い」と述べています。子どもは、大人が意図的に与える指導だけで育つのではなく、日常の中で自然に触れる言葉や態度、場の雰囲気から多くを学んでいきます。例えば、困っている人に声をかける姿、失敗を笑わずに受け止める態度、意見の違いを尊重しながら対話しようとする姿勢。そうした大人の何気ない行動こそが、子どもたちにとっては生きた教材です。私たちがどのような空気の中で日々を過ごしているかが、そのまま子どもたちの価値観や行動の土台になっていくのだと思います。

本校では、生徒が自ら問いを立て、考え、対話しながら学ぶことを重点に取り組み始めています。その土台となるのは、安心して意見を言える空気、多様な考えを尊重する空気です。教師が答えを急がず、生徒の言葉に耳を傾けること。仲間同士が違いを認め合うこと。そうした日常の積み重ねが、「考える力」や「学び続ける姿勢」を育てていくと信じています。

外山さんの言う「空気の教育」とは、特別な教育法ではありません。むしろ、大人一人一人の在り方そのものです。子どもに「こうしなさい」と言う前に、私たちはどんな姿を見せているだろうか。失敗した人を責める空気をつくっていないだろうか。挑戦する人を応援する空気を共有できているだろうか。そう自らに問い続けることが、教育の出発点なのだと思います。学校・家庭・地域は、それぞれ役割は違っても、子どもたちを育てる同じ輪の中にあります。これからも、子どもたちを包む温かな空気を、ともにつくっていただければ幸いです。大人がつくる空気の中で、子どもたちは今日も静かに、しかし確かに育っています。

# 第4回学校運営協議会が行われました



12月15日(月)に、第4回の学校運営協議会が行われました。今回の協議会前も、六中生の学びの様子を参観していただきました。特に3学年では、文京区選挙管理委員会の協力のもと模擬選挙の取組が行われ、未来の担い手としてしっかり学ぶ姿が見られました。

協議会では管理職や各主任から、学校の近況や来年度の教育課程案等について説明を行いました。委員の皆様からは、生徒たちの学びの状況や学校の取組についてさまざまなご意見をいただきました。



3年生の模擬選挙を参観中です。

## 【協議会でいただいた主なご感想やご意見】

- ・前週の土曜授業の起業家教育プログラムや、当日の模擬選挙などの体験学習は生徒たちにとってとても有意義な学びと考える。
- ・部活動の地域展開は、地域や部活の種類、担当教員の状況によって実現性が大きく異なる難しい課題だ。
- ・熱心な教員だけでなく、さまざまな教員が対応できる新たな部活動のシステムを構築する必要性あると考える。
- ・過去にサッカークラブのコーチ・監督を務めた経験において、学校行事とクラブの重要な試合が重なる問題があった。学校行事と部活動のスケジュール重複が懸念されるので留意されたい。
- ・区立中学校全体の魅力を高め、競争原理に頼らない生徒数確保を目指せるとよい。



# 2学年コーヒー販売会が行われました

12月13日(土)の土曜授業公開日には、2学年の起業家教育プログラムの最大のイベントとなる「コーヒー販売会」が行われました。これまでの取組において、会社をつくり、市場調査・商品企画を行い、資金調達・仕入れなどを経て、今回は平和をコンセプトに置いたコーヒーを製造しました。販売会当日は、お客さんである保護者の皆様の前で広告宣伝をし、商品を販売しました。そしてお客様からのフィードバックをもらい、企画した商品の市場価値を知ること学びの一環として行いました。

販売会は大変盛況となり、実際に参加いただいた皆様からとても有意義な学びであったといったお声を多数いただきました。ご来校いただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。



同日の生涯学習講座の講師には、三田国際中学・高等学校 高津稲穂 理事長(26回卒)をお招きしました。



# 落ち葉掃きボランティアとケーキ作り体験

12月11日(木)・12日(金)には、生徒会役員会のプロジェクトとして「落ち葉掃きボランティア」が行われました。今回は掃き掃除の範囲を、正門周辺だった昨年より広げ、校庭や文京学院大学前までの掃き掃除を実施しました。生徒会役員の幅広い呼びかけにより、2日間で延べ102人の生徒たちが参加してくれました。生徒たちの心に宿るボランティア精神に大いに感動させられる時間でした。

12月14日(日)には、向丘青少年健全育成会主催の「ケーキ作り体験」が本校追分ホールで行われ、小学生が集まるケーキ作りのお手伝いとして9名の六中生が参加しました。

【12/11・12 落ち葉掃きボランティア】



【12/14 ケーキ作り体験】



今年も六中生は、多くの生徒が各方面のボランティア活動で活躍しました。誰かのためになる取組に気持ちよく参加する六中生を誇りに思うと同時に、地域の皆様には生徒たちが活躍する機会を与えていただいたことに心から感謝いたします。

## 今後の主な予定 (1月末まで)

### 令和7年12月

日	曜日	予定
25	木	終業式
26	金	冬季休業日始 学校閉庁日

### 令和8年1月

日	曜日	予定
7	水	冬季休業日終
8	木	始業式 安全指導日
9	金	※月曜日の授業
14	水	⑤カット (区中研一斉部会)
15	木	避難訓練

### 令和8年1月



日	曜日	予定
17	土	土曜授業公開⑤ 百人一首大会 (1・2)
19	月	生徒朝礼 生徒委員会
20	火	⑤⑥カット (区中研一斉部会)
22	木	中央委員会
23	金	放課後; 英語検定
26	月	全校朝礼
30	金	校外学習 (2)

※現段階の予定ですので、別途配布の月行事予定表を改めてご確認ください。

2025年が終わろうとしておりますが、今年も六中の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。新たな年も生徒たちの健やかな成長のために、学校全体で取り組んでまいります。